

中部地方更生保護委員会 保護観察所（保護観察官）

～地域社会とともに立ち直りを支える～



立ち直りを支えるとは

罪を犯した人が、罪を償い、再び犯罪をしないようにするには、立ち直りを決意した人を地域社会で受け入れていくことが重要です。

犯罪や非行をした人を社会の中で適切に指導・支援し、地域社会の理解・協力を得て、立ち直りを助けることにより、安全・安心な地域社会を作る。

これを「更生保護」といいます。

保護観察官とは

保護観察官は、更生保護において中心的な役割を担う専門家です。

刑事司法や心理学、教育学などの様々な専門的知識を用いながら罪を犯した人や非行のある少年たちとの面接を重ね、保護司をはじめとした民間のボランティアの方々や関係機関と協力しながら必要な指導や支援を行い、彼らが地域社会の中で立ち直るのを支援していきます。

先輩職員からのメッセージ

2022 年度採用 法務事務官（女性）

中部地方更生保護委員会に採用され、現在は事務官（庶務係）として、給与計算などの業務を担当しています。

採用当時は右も左も分からない状態でしたが、周囲の職員のサポートや研修の機会を通じて、仕事の進め方や業務に関する知識を身につけることができます。また、同じ職場内にいる保護観察官と関わる機会が多くあり、更生保護の現場を身近に感じたり自分自身がこれからどのようなキャリアを歩んでいきたいか考えたりしながら、日々の業務に取り組んでいます。

事務官と保護観察官のいずれの業務においても、人との関わり合いが大切だと感じます。興味のある方は、是非業務説明会等にお越しください。

やりがいがあり、
働きやすい職場だね

2012 年度採用 保護観察官（男性）

中部地方更生保護委員会に採用された後、本省などで勤務し、採用後5年目で保護観察所にて保護観察官として働き始めました。

保護観察官の仕事は、多くの罪を犯した人たちと接しますが、犯罪に至った背景や経緯などは様々で誰一人として同じ人はいません。個々の問題に着目しながら、その人が立ち直るためにはどうすればよいのかを考え、同じ職場の人だけでなく、保護司さんなどの民間の方々にも協力してもらいながら指導・支援を行っています。このように、様々な人と一体となって支援等を行っていくというのは、この職場の魅力の一つだと思います。また、育児休業の取得など、子育てとの両立がしやすい環境であり、人生の充実がより一層の業務の充実につながっています。



更生保護マスコットキャラクター
ホゴちゃん

勤務地

原則として採用された地方更生保護委員会及びその管轄内の保護観察所で勤務します。中部地方更生保護委員会の管轄内には、富山、金沢、福井、岐阜、名古屋及び津の6つの保護観察所があります。

- ・ 地方更生保護委員会：主として仮釈放等の事務を行う。
- ・ 保護観察所：更生保護の第一線の実施機関として、保護観察や生活環境の調整等の業務を行う。

職員数

中部地方更生保護委員会及び管轄内の保護観察所では約200人の職員が働いており、そのうち4割近くが女性職員です。

採用実績

(単位：人)

採用年度	2022年度	2023年度	2024年度
法務省専門職員(人間科学) 保護観察官区分	2(2)	6(4)	5(4)
一般職大卒(行政)	2(1)	0(0)	0(0)
一般職高卒(事務)	0(0)	1(0)	0(0)

※()書きは女性の内数

採用後のキャリアパス



採用情報・問合せ先

法務省専門職員(人間科学)採用試験(保護観察官区分)合格者から採用するほか、国家公務員採用一般職試験合格者からも採用しています。詳細については、採用時期にホームページに掲載します。

中部地方更生保護委員会事務局総務課(採用担当)

〒460-0001

名古屋市中区三の丸4-3-1 名古屋法務合同庁舎B棟4階

電話：052-951-2944



中部地方更生保護委員会
ホームページ